

東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議
中部地方幹線道路協議会

「早期復旧支援ルート確保手順」
（中部版 くしの歯作戦）



平成24年3月



国土交通省 中部地方整備局

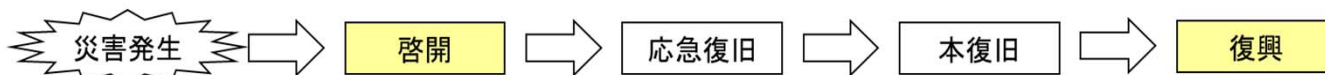
道路啓開の考え方

○前提条件

- ・東海・東南海・南海沖を震源とする最大震度6弱以上の大規模地震が発生した場合を想定
- ・太平洋沿岸地域で津波による甚大な被害が発生していると想定
- ・道路啓開を検討する道路ネットワークは、各県の定める緊急輸送道路を基本とする。

○「啓開(道路啓開)」とは、

- ・通常の災害においては、応急復旧→本復旧の流れとなるが、大規模災害時には、下記のとおり応急復旧の前に救援・救護活動のための復旧・支援ルートを確保する「啓開(道路啓開)」が必要。

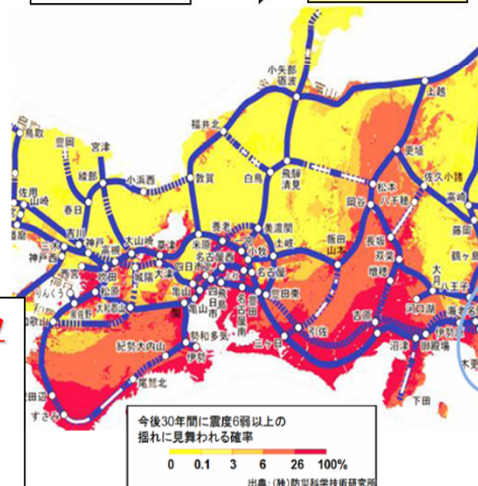


○ミッション

- ・津波等により、甚大な被害を受けた太平洋沿岸地域での救援・救護活動、人員・物資輸送等のための「道路啓開」を行う。
- ・災害時も想定した物資輸送の拠点となる港湾・空港等との連絡確保

○道路啓開方針

- STEP1: 比較的被害が少ない**高規格幹線道路等の広域ネットワークライン**を確保
- STEP2: 広域ネットワークラインから**太平洋沿岸部に繋がるライン**を確保
- STEP3: 沿岸部に繋がるラインから**太平洋沿岸沿いのライン**を確保



(資料: 社会資本整備審議会第13回道路分科会より)

道路啓開作業

【被災直後】



【啓開作業中】



東日本大震災における道路啓開作業

【啓開作業後】



緊急車両の通行が可能に

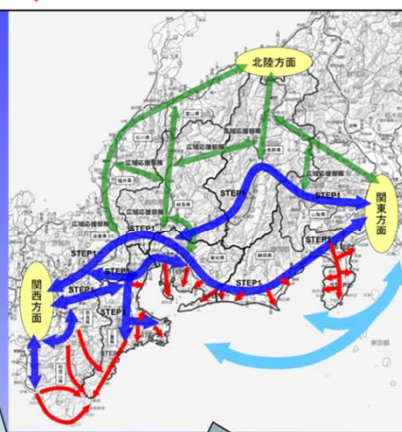
早期復旧支援ルート確保手順(中部版 くしの歯作戦)

海溝型地震による津波に備えるルート

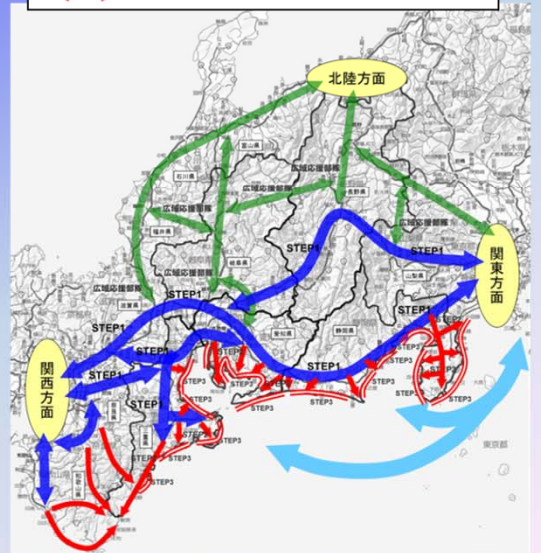
STEP1: 比較的被害が少ない高規格
幹線道路等の広域ネットワー
クラインを確保



STEP2: 広域ネットワークラインから太平
洋沿岸部に繋がるラインを確保



STEP3: 沿岸部に繋がるラインから太平洋
沿岸沿いのラインを確保

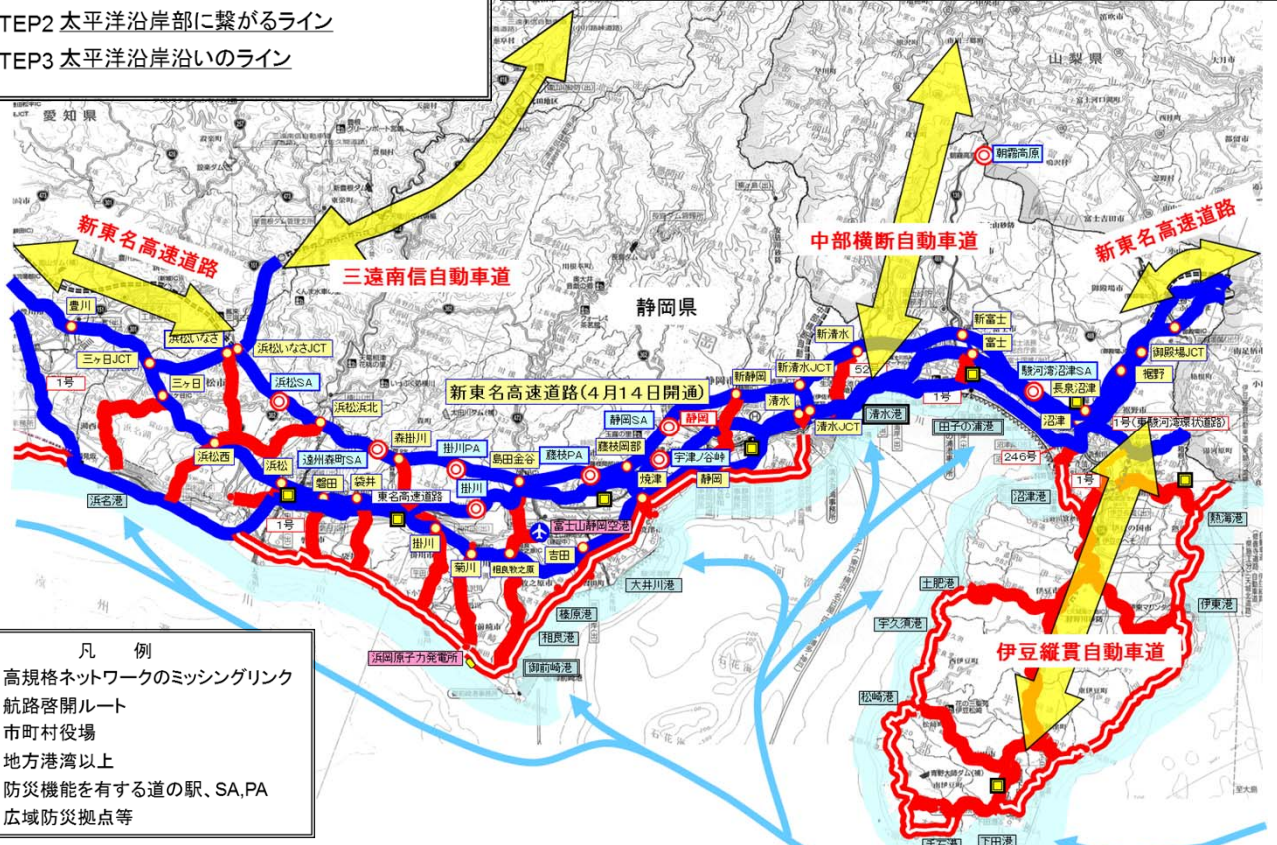


← 広域支援ルート ← 海上輸送ルート

早期復旧支援ルート確保手順(中部版 くしの歯作戦) 静岡県版

海溝型地震による津波に備えるルート(静岡県)

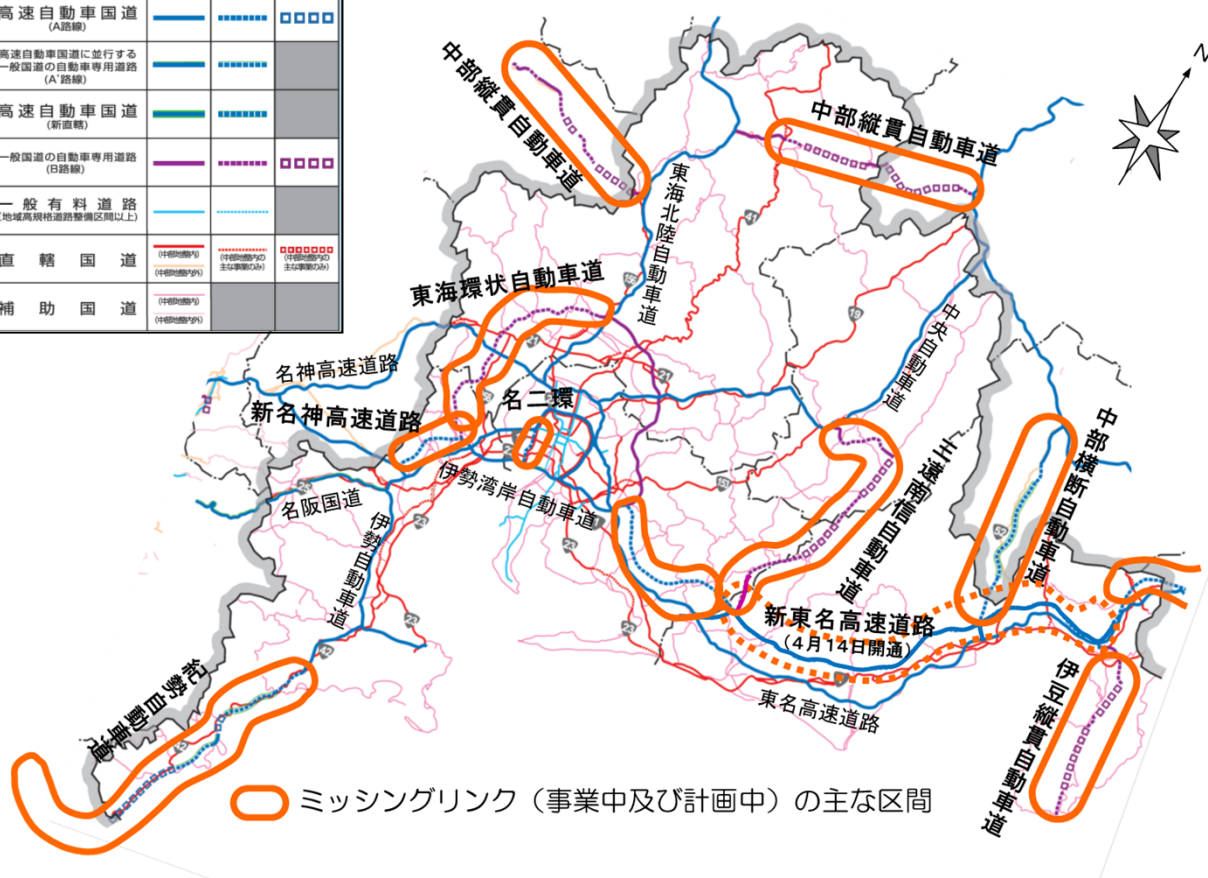
- ◆ STEP1 高規格幹線道路等の広域ネットワークライン
- ◆ STEP2 太平洋沿岸部に繋がるライン
- ◆ STEP3 太平洋沿岸沿いのライン



- 凡 例
- ← 高規格ネットワークのミッシングリンク
 - ← 航路啓開ルート
 - 市町村役場
 - 港 地方港湾以上
 - 防災機能を有する道の駅、SA、PA
 - 広域防災拠点等

求められるミッシングリンクの解消

	供用中	事業中	計画中
高速自動車国道 (A路線)	■	■■■■■	□□□□
高速自動車国道に並行する 一般国道の自動車専用道路 (A'路線)	■	■■■■■	
高速自動車国道 (新路線)	■	■■■■■	
一般国道の自動車専用道路 (B路線)	■	■■■■■	□□□□
一般有料道路 (地域高規格道路整備区域以上)	■	■■■■■	
直轄国道 (中核路線等)	■	■■■■■	□□□□□□
補助国道 (中核路線等)	■	■■■■■	□□□□□□



実施すべき対策

道路啓開、復旧支援ルートの設定

- ＜早期復旧支援ルートの確保手順の策定＞
 - 前提条件の整理(これまでの想定による震度、津波高さ、ハザードマップ)
 - 道路啓開の手順の作成
 - 既存ネットワークのチェックと強化
 - 関係機関との調整(地方自治体、港湾空港部、近隣自治体、他地整)

- ＜信頼性の高い道路ネットワークの確立＞
 - 信頼性の高い道路ネットワークの強化(ミッシングリンクの解消)

災害に強い道路

- ＜致命的な損傷を受けない道路構造の構築、予防保全の実施＞
 - 各種点検(防災カルテ・橋梁診断等)
 - ・橋梁の抽出(耐震未実施橋梁・津波による冠水(流出等の被害)のおそれがある橋梁等)
 - 緊急輸送道路の橋梁耐震補強対策
 - 橋梁長寿命化修繕計画の策定
 - 橋梁長寿命化修繕計画に基づく架替及び修繕
- ＜副次的な機能の活用＞
 - 避難通路及び避難階段等の設置
 - 道路のり面を避難場所として活用
 - ・地域と連携した防災訓練の実施

情報共有・情報伝達方法

- ＜災害に強い情報通信ネットワークの確保＞
 - 情報通信の多重化(マイクロ回線の二重化)
 - 関係機関との連携による情報通信の多重化
 - 津波対応CCTVの設置(耐水化、無停電化等)
- ＜道路利用者への迅速な情報伝達＞
 - 津波対応情報板の設置(無停電化等)
 - ITSスポットを活用した情報提供
 - 海拔表示シートの設置
 - 津波標識の設置
 - 地理情報システム(GIS)を活用した情報提供
 - 航空レーザ測量による情報提供

被災時の支援体制

- ＜防災機能の強化・充実＞
 - 「道の駅」の防災機能の強化・防災拠点化
 - SA・PAの防災機能の強化
 - インターと一体で開発された周辺施設の防災拠点化
- ＜人的・物的支援のルール化＞
 - 災害協定による支援体制の確立

復旧方法

- ＜復旧方法の検討＞
 - 津波による冠水(流出等の被害)のおそれがある橋梁等の抽出
 - 復旧対策(迂回路、復旧方法等)の検討
 - 防災備蓄倉庫の整備